

テーマ

当たり前のことを当たり前に行える避難訓練について

鹿児島県霧島市立上小川小学校

I 学校の概要（立地状況等含む）

本校は、霧島市役所の南東約2kmに位置し、南に錦江湾と桜島を、北に霧島連山を遠望することができる。霧島市内中心部の国分平野にあり、海拔2mで地域の第二避難所に指定されている。

II 避難訓練の取組の概要

1 取組の内容、方法等

(1) 内容

火災、地震、台風などの災害への備えや、不審者侵入等への対応など、児童の命を守る意識の向上を図る。

(2) 方法

年間7回の避難訓練と、学級活動での事前指導や振り返りを行う。

2 避難訓練の内容とねらい

(1) 内容（年7回）

- ア 風水害対応訓練【1回】
 - ・引き渡し（6月）…1時間
- イ 不審者対応訓練【2回】
 - ・不審者（声かけ 6月）…15分
 - ・不審者（駐車場発見 12月）…15分
- ウ 津波・地震訓練【2回】
 - ・津波（9月）…15分
 - ・地震（10月）…15分
- エ 火災訓練【1回】
 - ・火災（11月）…1時間
- オ Jアラート訓練【1回】
 - ・Jアラート（1月）…15分

(2) ねらい

- ・年間を通して計画的に訓練を実施することで子供の防災意識の向上と避難行動の習慣化を図る。
- ・PTAや地域、関係機関等との連携を深める。

3 避難訓練実施までに工夫したこと

- (1) どの避難訓練についても「お・か・し・も」の指導を共通して行う。
- (2) 本校職員の共通理解と関係機関（消防署等）との連携を密に図る。

4 避難訓練の状況

(1) 引き渡し訓練の実施

- ア 開催期日 令和3年6月4日
- イ 参加者：合計313人
 - 全児童：209人 保護者：75人
 - 学童職員：10人 本校職員：19人

(2) 避難訓練の実際



【引き渡し訓練における保護者への引き渡し場面】



【津波訓練における屋上避難の場面】

5 取組の成果と課題

(1) 成果

- ・本校のキャッチフレーズである「当たり前のことを当たり前！」を全教育活動で実践している。避難訓練においても、自らの命を守るために、当たり前の行動が当たり前にとれるよう、防災意識の向上と避難行動の習慣化を図ることができた。
- ・計画に沿った避難訓練の実施を通してPTA・地域・関係機関との連携を図ることができた。

(2) 課題

計画していた避難訓練を予定どおり実施し、一定の成果を挙げることができた。今後は、臨時の避難訓練を積極的に取り入れ、突発的な場面にも対応できる訓練が必要である。